



さかいぎ

チャレンジアップ! かがやく自分

12月号

令和5年11月30日
横浜市立境木小学校
校長 清見克明

豊かな読書活動を目指して

副校長 本田 昌彦



境木小学校では、11月2日(木)から11月17日(金)までの間、読書週間にちなんだ様々な活動が行われました。

左の写真は、「読書の木」です。図書委員会の児童が木の絵を描きました。そして、その木の周りにお勧めの本が書かれた葉っぱが、次々に貼られていきました。これを見た別の児童が、きっとその本を手にとったことでしょう。

下の写真は、各クラスで作り上げた60ピースのジグソーパズルです。1冊を読み終わると、1ピースがもらえるというルールです。2週間の間に、クラスのみんなが力を合わせて60冊を読み切ると、ご褒美に2冊の本を、借りることができる券がもらえます。ほとんどのクラスが完成しました。



右の写真は、読書週間に合わせて、各クラスの取組を掲示したものです。これは、読書週間を盛り上げるために代表委員会で話し合いました。多くの子どもたちが足を止めて、友達のクラスの取組を読んでいました。図書委員会とのコラボ活動です。



これらの活動は、学校司書や図書部の職員、そして「ぶっくまま」のボランティアの皆様と協力して作り上げています。子どもたちが本を借りに来たくなるような、素敵な掲示物や、年間を通しての読み聞かせ活動も、子どもたちが本を好きになるきっかけとなっています。教科指導ではない読書指導も、子どもたちの心に残る大切な教育活動です。ご協力に感謝します。

今回ご紹介した活動だけでなく、この1年間、本当に多くの場面で、本校の学校教育へご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。来年もよろしくお願いたします。どうぞ、よいお年をお迎えください。